

急びの話

某女

四十四

アノ示、皆さん先生が今はこんなに大きくなつたでせう、けれども示まだ皆さんの様に小さかつた時、オ、さうく丁度七歳の時でした。七つでは皆さん位です示、まだ田舎のふ家に居つた頃でした。ふうちのうちに小さい川があつたんです。川巾が此位で水の深さが先生の其時の膝位でした。夏の暑い日などにははだしで目高を逐ひ廻はすのが大層面白いものでした。或日のこと先生が何時もの様に川の中をのぞいて見ますと何處から昇つて來たのか、澤山なゑびがピンくと泳いで居ました。先生は大悦びでお家へかけて行つて籃を持つて來て、それからかうやつてシユツとすくつたのです。スルト、まあ澤山なゑびがとれてざるの中はアツチでもピンく、コツチでもピンくとはねて居るのです。先生はもううれしくて／＼ぐにお家へ持つて歸つて桶の中に水を入れて飼つて置きました。スルト或時其ゑびと先生と不思議なお話を致しました。今其お話を皆さんに聞かせ

上游けませう。
或時、其えびが桶の中で、かうやつて面白さうに游いでゐるでせう。それで、先生よく見てゐたら、何だかこんな長いひげが二本あつて、こんなにして、かうやつてふよいであるんですよ。其ながいいひげのあるえびを見せてあげませう示。(標本提出)そーらこんなに長いんですよ。
それで示、こんなにないひげがあつては、ふよぐのに邪魔だらうからとつてやらうと思ひまして、手をかうやつて水中にそ一つといれたんですよ。そうすると、えびがびつくりしたやうにしゆつとむかふの方に上げてしまつたんですよ。だから先生は示、オヤ／＼そんな邪魔けなものない方がよいだらうについて、そういうひましたらえびが不、
「先生!!! それは／＼とんでもない、此ひげがもを／＼私の大じなものなんですものつてさういひますから示 なぜそんなもの大じなんですかつてさうきいたらえびさんは示、でも先生私がかうやつてふよいであるのに石になんかつさわるといけ

ないでせうだから、かうやつてこれを動かしてわ
此所に石があつていかれないなと思ふたらちよつ
とこうやつて外の方に向いていくんですよ、だか
ら先生は不ぢやえびさん／＼あなたに目がないで
せう示それでめくらの人みたやうにこんなにして
ふよいでゐるでせう示一つてさういふたらえびさ
んふこつたんですよそして示それあ私にだつて目
がありますよそして皆さんのやうにこんなもの
(まぶた)がなくてちやーんと高いところにとび
出でてゐるから何でもよく見えますよそして後
の方から誰かいたづらでもしそうな時には目をす
ぐに後の方にむけてみてさ來たなつと思うと見え
ない方ににげていくんですよそらかうやつてにげ
るんですよつてしゆつと向ふの方に行つたんです
よ其ふよき方つたらほんとに上手なんですもの
先生びつくりいたしましたよそして示余り上手な
のできつと大きなひれをもつてゐるんだらうと思
うてかうやつて見たけれどもひれがないんですよ
だもんで先生ふしきでたまらなくなつてえびさん
あなたのからだに一ツもひれがないのによくそ

んなに上手にむよげます示つてさういふたら先生
＼＼あのー私のからだには金魚さんなんぞ持つて
入らつしやるひれなんかよりもつと／＼よいもの
があるんですよそーら御らんなさいつてかうやつ
て先生に見せたんですよ皆さんこれ示よくわかる
でせうほんとに金魚のひれとほちがひます示
そして示先生はえびさんのところをよく見たら何
だかこんなにしてお腰が曲つてゐるやうなんです
よだから先生は示ア・ラをかしいの示此えびさん
お腰をまげてゐるよもういくつになつたのおばあさ
んのやう示つてさういふたらえびは笑つてアハ、
、、私をふばあさんなんて先生ちつともしらな
いんでせうちや示先生私の腰をまげてゐるわけをふ
話してあげませうかつてさういひましたから工話
して下さいつて先生はいふたんですよそしたら示
えびさんはあのー皆さんだつて兎さんだつてびよ
ん／＼はねる時にはかうやつてお腰をまげるでせ
う私だつて水の中で游いだりはねたりする時には
かうやるんですよだから御腰をまげるんですよ
てさういふんですよだからウムさうか先生も一ツ

腰が曲るかどうか一寸はねて見やうつてびよんとはねたんですねよそしたらえびさんは不一ア、びつくりした先生そんな大きなからだしてはねるんでするもの一つてさういふたからえびさんいくらはねたつてえびさんは耳がないからきこえないぢやありませんかといふたらわーら私にだつて耳がありますよそらくに不つてをしへたんですよそら御らんなさいこゝにあるでせうそれから不

れわ先生私だつて生きてる時にはこんないろをしてりますけれども死んでしまつてうでられたりあんなふ正月に御かざりするやうな赤い色になるとますよつてさういふてきかしたんですよほんとにえびさんてふしぎな事ばかりいひます不一さんはよーくえびを見せてあげますよ

御鼻もありますよつてさういふからどこにつけていたら此ちいさなひげのさき一のほうにあるけれども小さくて見えないでせうといひましたよこゝにあるんですつてでもほんとに小さくて見えません不一そうするとえびにも鼻も耳もあります不一先生そんなものないとばつかり思うて居たのにえびさんからわるつてきてやつとわかつたんですねでも不先生其時見たえびは赤くなかつたんですね皆さんの御うちでお正月に御飾りなさるのはどんないろです……さうです不一も其時の赤くないからえびさん／＼先生がいつも見ますえびさんは赤いんだかあなたはちつとも赤くはないやう

記者曰、此話は材料としては可なりのものではあるが話中に冗語が多くて實際に此ま用ゆるときは幼児の興味を殺ぐことが多いだらうと思ひなす、時が編輯へ切に差迫りましたので改作することが出来ませんでしたから、原文のまゝ載せました。其ふ積りで御使用の際は改作を願ひます。

又作話が現實界と空想界とを混亂しては居りますが今別段訂正致しませんでした讀者は此點も御注意下さる様願ひます。